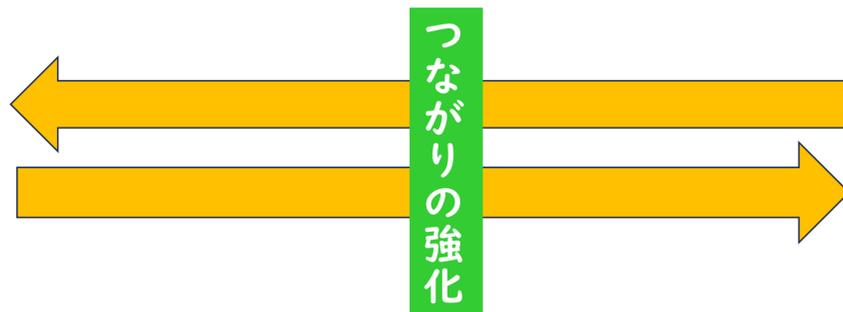


# センターとのつながりをつくり、学校の課題を解決する取組

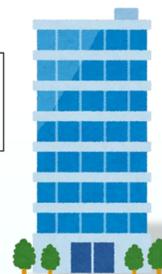
長期研修員 有井満春



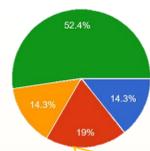
## 学校での取組



## センターとのつながり



- ・管理職との実態の打合せ
- ・教職員から聞き取りなど



管理職との打合せを足掛かりに、多様な方法で実態の把握する

### 1. 実態の把握



県内の傾向や他校はどうなっているのだろう。  
センターのWebサイトで調べてみよう



学校の課題をどう捉えているか、管理職に聞いてみよう

管理職や研修主任の話、アンケート結果をまとめると学校の課題は？

- ・個々で情報収集、相談



センターのWebサイトを見ると、学校の課題が解決できるかな？

実態に合わせた情報をセンターWebサイトやカリキュラムセンターから収集する

### 2. 情報の収集

Webサイトや(SNS、センターだより等)カリキュラムセンター教育図書などから情報収集

情報の整備・発信の強化



- ・校内研修による全体支援
- ・指導案検討等の個別支援

全体支援では、センターの指導主事をお願いしよう  
個別支援では、不安な教職員に寄り添おう



個別に相談できたので、やってみようという気持ちが高まった！

全体支援で情報や方向性を共有する  
個別支援で一人一人の課題に寄り添う

### 3. 情報の共有

- ・研修支援を要請→共有
- ・専門性の高い情報の活用

研修支援隊の受付  
教材教具の貸出受付  
研修支援隊の支援



- ・模範授業等実践、検討会等
- ・授業サポート、授業研究会

校内の実践例をつくり、後で共有する

### 4. 授業実践

授業の参観・指導



支援があったから、新しいチャレンジができた！  
慣れてきたから支援がなくてもできるようになってきた！



- ・教職員の授業実践例共有
- ・考えられる改善点の共有

有効だった手立てを分かりやすく伝える

### 5. 成果の共有

- ・授業実践の成果を共有
- ・群馬県全体へ発信

SNSやWebサイトで成果の共有



今後の参考になる手立てがあったよ！

